

エピビル錠 150、エピビル錠 300

【この薬は？】

| | | |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 販売名 | エピビル錠 150 EpiVir Tablets 150 | エピビル錠 300 EpiVir Tablets 300 |
| 一般名 | ラミブジン Lamivudine (3TC) | |
| 含有量 (1錠中) | 150mg | 300mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤(ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤)と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の逆転写酵素を阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記疾患における他の抗HIV薬との併用療法

HIV感染症

- ・この薬は、他の抗HIV剤と併用されます。
- ・この薬を、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○腭炎を発症する可能性がある小児で、重い腹痛、悪心、嘔吐(おうと)、背中

みなどがあらわれた場合には、使用を中止し、ただちに医師等に連絡してください。

- B型慢性肝炎にかかっている人では、この薬の使用を中止するとB型慢性肝炎が悪化することがあります。特に進行したB型慢性肝炎の場合は、症状が重くなる可能性があります。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にエピビル錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・膵炎を発症する可能性のある小児
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・高齢の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・小児等
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。特に腎臓に障害のある人においては慎重に飲む量が決められます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

| 販売名 | エピビル錠 150 | | エピビル錠 300 |
|------|-----------|------|-----------|
| 一回量 | 1錠 | 2錠 | 1錠 |
| 飲む回数 | 1日2回 | 1日1回 | 1日1回 |

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・この薬が、性的接触や血液を通した他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
- ・重篤な乳酸アシドーシス（深く大きい呼吸）および脂肪沈着による重い肝腫大（羽

ばたくような手のふるえ、吐き気、右上腹部の痛みや圧痛、皮膚が黄色くなる)が女性に多く報告されています。これらの副作用を思わせる症状があらわれたら、ただちに受診してください。

- この薬を含めて、H I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。
- この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したりすることがあります。
- 成人でも膵炎が発症する可能性がありますので、定期的に検査が行われます。重い腹痛、悪心、嘔吐、背中の痛みなどがあらわれた場合は、医師に連絡してください。
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- 授乳を中止してください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|--|---|
| 重篤な血液障害 (赤芽球瘍、汎血球減少、貧血、白血球減少、好中球減少、血小板減少) <small>じゅうとくなげつえきしょうがい(せきがきゅうろう、はんけつきゅうげんしょう、ひんけつ、はっけつきゅうげんしょう、こうちゅうきゅうげんしょう、けっしょうばんげんしょう)</small> | からだがだるい、動悸(どうき)、めまい、息切れ、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおあざができる、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、頭痛、のどの痛み、発熱 |
| 膵炎 <small>すいえん</small> | 胃・おなかの激しい痛み、吐き気、嘔吐、背中の痛み |
| 乳酸アシドーシス <small>にゅうさんアシドーシス</small> | 意識の低下、羽ばたくような手のふるえ、考えがまとまらない、判断力の低下、深く大きい呼吸、吐き気、嘔吐 |
| 脂肪沈着による重度の肝腫大(脂肪肝) <small>しぼうちんちゃくによるじゅうどのかんしゅだい(しぼうかん)</small> | 白目や皮膚が黄色くなる、右上腹部の痛みや圧痛 |
| 横紋筋融解症 <small>おうもんきんゆうかいしょう</small> | 手足のこわばり、手のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、赤褐色尿、足のしびれ |

| | |
|---|--|
| 精神神経系 (ニューロパシー、 錯乱、痙攣) せいしんしんけいけい (ニューロパシー、さくら ん、けいれん) | 集中力の低下、頭の痛み、物事が思い出せない、手足のしびれ、意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない、けいれん |
| 心不全 しんふぜん | 横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、全身のむくみ、からだがだるい、動く時の動悸 |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | からだがだるい、発熱、脱力感、けいれん、全身のむくみ |
| 頭部 | めまい、頭痛、意識の低下、考えがまとまらない、頭の痛み、意識の混乱、意識が乱れる |
| 顔面 | 鼻血 |
| 眼 | 白目が黄色くなる |
| 耳 | 耳鳴り |
| 口や喉 | 歯ぐきの出血、のどの痛み、吐き気、嘔吐 |
| 胸部 | 動悸(どうき)、息切れ、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、動く時の動悸、吐き気、深く大きい呼吸、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、右上腹部の痛みや圧痛、息苦しい |
| 腹部 | 胃・おなかの激しい痛み、吐き気 |
| 背中 | 背中での痛み |
| 手・足 | 手足のこわばり、手のしびれ、手足のしびれ、足のしびれ、羽ばたくような手のふるえ |
| 皮膚 | あおあざができる |
| 筋肉 | 筋肉の痛み |
| 尿 | 赤褐色尿 |
| その他 | 判断力の低下、集中力の低下、物事が思い出せない、出血しやすい |

【この薬の形は？】

| 販売名 | エピビル錠 150 | エピビル錠 300 |
|-----|---|---|
| 形状 | ひし形の錠剤  | ひし形の錠剤   |
| 直径 | 長径:13.9mm 短径:6.9mm | 長径:17.3mm 短径:8.5mm |
| 厚さ | 4.5mm | 5.6mm |
| 重さ | 310mg | 615mg |

| | | |
|-------|-----------|-----------|
| 色 | 白色 | 灰色 |
| 識別コード | G X C J 7 | G X E J 7 |

【この薬に含まれているのは？】

| | | |
|------|---|--|
| 販売名 | エピビル錠 150 | エピビル錠 300 |
| 有効成分 | ラミブジン | |
| 添加物 | 結晶セルロース、デンプン、グリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、酸化チタン、ヒプロメロース、マクロゴール 400、ポリソルベート 80 | 結晶セルロース、デンプン、グリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、酸化チタン、黒酸化鉄、ヒプロメロース、マクロゴール 400、ポリソルベート 80 |

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販売会社：グラクソ・スミスクライン株式会社

(<http://jp.gsk.com>)

ヴィーブヘルスケア・カスタマー・サービス

電話：0120-066-525

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休業日を除く）